



自衛隊栃木地方協力本部

職場体験学習を初めて支援 ～食事のおいしさに感激！！～



宇都宮駐屯地 職場体験



1日 宇都宮駐屯地のメニュー

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田 陸尉）は、10月1日（水）～3日（金）の3日間、栃木県本、北宇都宮駐屯地及び宇都宮駐屯地において、矢板市立片岡中学校、塩谷町立塩谷中学校及び高根沢町立北高根沢中学校の職場体験学習を支援した。

参加者は、片岡中3名、塩谷中4名、北高根沢中3名の計10名。職場体験の内容は、次の通り。

1日目 宇都宮駐屯地（救急法・団体行動体験、車両体試乗、資料館見学等）

2日目 北宇都宮駐屯地（航空機見学及び気象班見学等）

3日目 本部（自衛隊の説明及び手旗信号等）

特に各駐屯地の体験喫食では、宇都宮駐屯地での「パスタ」、北宇都宮駐屯地での「魚料理」のおいしさに感動した学生たちは、献立表を見て「パスタ、カレー、魚料理、なんでも出てくるんですね。しかも、おいしい・・・」と感動の声が聞かれた。北高根沢中学校の担当広報官平井一空曹は、空自の「給養員」の経験から興味をもった学生たちに自衛隊の食事について、詳しく説明する場面も見られた。

また、学生の1人からは、「航空機に触れることができたこともよかった」と話してくれた。また、初めて職場体験支援を行った担当広報官の豊田3陸曹が、送迎車両の中で、自衛隊の説明や魅力について話し、職場体験中も記念写真を様々な場面を撮影し「写真を撮るタイミングや角度が難しい」と真剣に取り組んでいる様子が見られた。

また、3日目の本部では、本部長車両の前に、「この前まで運転していた車両です」と元本部長ドライバーとしての説明を行い、学生からは、「すごいですね」。僕たちも安全運転で送り迎えしてくれて、感謝です」との声が聞かれた。豊田3陸曹は、「職場体験学習を通じ、まずは自衛隊を知ってもらい、将来の選択肢として魅力を伝えていける活動をしていく」と意気込みを語った。

大田原地域事務所は、「職場体験学習を通じて、自衛隊を知り、装備品などに触れて体験することで将来の選択肢として考えてもらえる活動をしていく」としている。



北宇都宮駐屯地 職場体験



2日 北宇都宮駐屯地のメニュー